

### 地域の文化・伝統を守る

## 寄木地区の小正月行事「ささよ」



1月15日(火)、寄木地区で小正月の行事「ささよ」が行われました。

「ささよ」は、地区内の男子小中学生が法被姿で大漁旗を先頭に各家庭をまわり、玄関先で「大漁唄い込み」を歌い、大漁と航海安全を願う伝統行事です。200年以上続くと言われ、昭和55年8月に民俗文化財に指定(※)されました。「ササヨー ヨイトコラ ヨイト ナエー エンヤー エンヤー エンヤー」と唄われる囃子言葉から「ささよ」と呼ばれるようになりました。

今年は10人の小中学生が参加し、夕方3時からおよそ5時間かけて寄木地区の全46戸をまわりました。各家庭から受け取ったお菓子とご祝儀は、大將(年長者)が全員に配分します。これは船頭が船子に漁獲を分けることをまねたものと言われ、子どもたちはこうして浜の習慣を身に付けていきます。(※)旧歌津町が指定し、南三陸町に引き継がれました。

### 「ささよ保存会」会長の畠山吉雄さんに話を聞きました。地域の文化を後世に残したい



畠山 吉雄さん (80歳)

私が子どものころの「ささよ」は、大漁旗が5枚も付いた太い竹ざおを、船揚場から家庭まで担ぎ、船揚場に戻ってから次の家庭に大漁旗を運んだので、今より世帯数が少ないとはいえ、とても体力が要るものでした。

また、「大漁唄い込み」のお囃子の部分だけを繰り返し唄っていました。

「ささよ」は、藩政時代から1人が大漁唄い込みを唄い、他はお囃子だけを唄う形で伝承されてきましたが、大

正時代に歌詞が失われたため、お囃子だけが唄われるようになったそうです。

私は船に乗るようになり、出船などで唄われる各地の大漁唄い込みを聞くたびに、「ささよ」も昔はこんな歌詞で唄われていたのだらうと思い、復活を考えました。それから近隣の大漁唄い込みを聞き比べ、寄木の地域性に合ったものを参考

にしてまとめたものが、現在の「ささよ」の大漁唄い込みです。歌詞を忘れないよう、全員で唄うようにしました。

それから60年、毎年子どもたちの元気な唄が聞けることは、とてもうれしいですね。

しかし、少子化で来年参加する小中学生が6人となり、その後も減る見込みであることが課題です。昔は漁船に女性が乗ることを嫌がったため、「ささよ」は男性だけで行われてきました。また、高校生は部活動などで難しいようです。今後をどのようにしていくか、地区で検討を進めています。

ところで、旧歌津町では年1回、各文化財の代表者の会合があり、情報交換や課題を話し合っていました。

今、後継者不足に悩んでいる団体は他にもあるだろうと思うので、情報交換の場があったら良いのではないかと考えています。

寄木地区の文化を伝える「ささよ」が未長く、後世に続くことを願います。

国際交流協会では、国際理解を深めることを目的に「国際交流フェア」を開催します。

町内在住者ほどなたでも参加できます。異文化交流を通して、新たな世界を発見してみませんか？

◇日時 2月17日(日) 午前11時～午後2時  
◇場所 志津川保健センター  
◇内容 もちつき、中国・フィリピン等の食文化の紹介、ほか

◇参加費 無料  
※準備の都合上、参加申し込みを2月13日(水)までお願いします。

◇申し込み・問い合わせ 国際交流協会事務局 (役員企画課 まちづくり推進係内) ☎46-1371



昨年の国際交流フェアの様子

### ■「みんなの広場」に掲載したい情報大募集！

「みんなの広場」のページは、地域で活動するボランティア団体やサークル団体、個人などを応援するためのコーナーです。団体の紹介や主催イベントの情報提供などを掲載しますので、掲載したい情報がありましたら、企画課までお問い合わせください。  
◇問い合わせ 企画課 まちづくり推進係 電話46-1371内線223 FAX46-5348 Email machizukuri@town.minamisanniku.miyagi.jp

## 第3回南三陸吹奏楽祭

最優秀賞の知らせに、びっくりしました。そして今年も「読書感想文作品集」の表紙に載ると思うと、とてもうれしいです。自分では絵が上手とは思っていません。描くことは大好きです。いつも、全体の構図を考えながら描くようにしています。過去2回は、動物たちの絵でしたが、今回は、親子が公園で本を読んでいる様子を描きました。どのような絵にしようかと悩む時間が長かったので、構図が決まり描き始めたところから描くことができました。でも、親子の表情を描くところは難しかったです。ぜひ来年も出品したいと思っています。もうすぐ中学生。より勉強に頑張りたいです。将来は、図面などを見たり書いたりすることが好きなので、設計士になりたいと思っています。

## 構図を考えて描きます

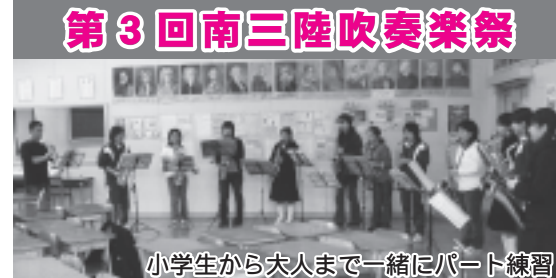


首藤 沙 姫さん (入谷小学校6年)

## インタビュー

第3回(平成19年度)南三陸町読書感想文コンクールの「読書感想文作品集イラストコンクールの部」で3年連続最優秀賞を受賞した、首藤沙姫さんに話を聞きました。

## みんなの掲示板



志津川小学校吹奏楽部、歌津中学校吹奏楽部、志津川高校音楽部、志津川吹奏楽団員の4団体が、日ごろの練習の成果を披露します。団体ごとの演奏の後には、総勢104人による合同演奏も行います。ぜひ私たちの演奏を聴きにきてください。  
◇日時 2月2日(土) 午後1時30分開演  
◇場所 志津川小学校 体育館  
◇問い合わせ 志津川高等学校音楽部顧問 ☎46-3643

## 第5回 先端情報講演会

平成19年度 南三陸町ふるさとまちづくり・ひとづくり創出事業  
サンライズクラブでは、地域の発展を目的に、先端情報講演会を開催しています。今回は、東北大学教授両角和夫氏が取り組んでいる「広田湾磯焼け対策調査研究事業」などを紹介し、環境ビジネスの可能性と地域産業振興策をテーマに講演があります。入場は無料です。多くの皆さんが聴講されますよう、お待ちしております。  
◇日時 2月15日(金) 午後2時～3時30分  
◇場所 南三陸町役場 大会議室(行政第二庁舎2階)  
◇講演テーマ 地域環境ビジネスの可能性 ～農林水産資源を活用した新たな地域産業の創出～  
◇講師 東北大学大学院農学研究科教授・農学博士 両角和夫氏  
◇問い合わせ サンライズクラブ 代表 佐々木光之 ☎46-6386

## ユニセフ募金 あいがとうございました

昨年12月30日(日)に私たち少林寺拳法歌津支部が町内3カ所(ウジェスーパー前、仙台銀行歌津支店前、元名足駐在所前)でユニセフ該当募金活動を行いましたところ、小雨の中にもかかわらず多くの皆さんに募金していただきました。

サイフの中の小銭をはたいて募金していただいたおばあさん、わざわざトラックを止めて募金してくれた若い方などから、63,138円の善意が寄せられました。本当にありがとうございます。

お寄せいただいた募金は、全額日本ユニセフ協会に送金したのでご報告いたします。

◇問い合わせ 少林寺拳法 宮城歌津支部(加藤) ☎36-2655

## お詫びと訂正

先月号の「みんなの広場・ひとことインタビュー」に掲載した入谷小学校6年の山内さんの名前に誤りがありました。お詫びを申しあげ、次のとおり訂正いたします。

誤:山内秀人 → 正:山内優人

## 参加チーム募集！ 少年フットサル大会を開催します！

南三陸町サッカー協会では、小学生を対象にしたフットサル大会を開催します。フットサルは5人制の室内サッカー競技。昨年にはプロリーグが出来るなど、全国で盛んに行われているスポーツです。友達を誘ってどんどん参加しよう！  
※試合進行上、受付順10チームで締め切ります。

## 南三陸町小学生(U-12)フットサル大会

◇日時 2月24日(日) 午前8時40分開会  
◇場所 志津川公民館 体育館  
◇参加資格 町内の小学4～6年生(成人の代表者が必要です。)

◇試合方法 ①5人制、試合時間は8分ハーフ、ハーフタイムは3分。②試合はリーグ戦またはリンク戦を行い、決勝戦を行います。

◇参加料 無料  
◇参加申込 2月15日(金)まで

◇その他 ゼッケンは主催者で用意しますが、そろいのユニホームも可。室内運動靴持参。スネあてを着用すること(ない場合は主催者で貸し出します)

◇申し込み・問い合わせ フットサル実行委員会事務局 アスリートやまうち(管の浜・平成の森入口) ☎36-2332 FAX36-2411  
※申込書は、理容ポプラ(管の浜) ☎46-3553)にもあります。